

戦後80年 平和への誓い

本年、私たちは戦後80年という大きな節目を迎えました。

かつての戦争で命を落とされた全ての方々に、心より哀悼の意を表します。また、戦争の困難な時代を乗り越え、平和の社会を築き上げてくださった先人のご努力に、深い感謝の念を捧げます。

時代が移り変わり、戦争の記憶を直接語り継ぐ世代が少なくなっていく中、私たち一人ひとりがその歴史を学び、平和の尊さを胸に刻み続けていかなければなりません。

現在、利南運動公園には、平和の象徴として世界中に植えられている「陽光桜」や、被爆に耐えて今も生き続ける広島・長崎の被爆樹木二世であるアオギリ・クスノキが植えられております。これらの木々を大切に育て若い世代へ語り継ぐことは、歴史を忘れず、平和の尊さを心に刻むための大切な営みです。

こうした身近な平和の証を通じて、命や人権の重みを考えることは、未来を担う子どもたちにとっても大切な学びです。

子どもから大人まで世代を超えて平和の尊さを感じ行動につなげていくことが、今まで以上に求められています。

この節目を機に、改めて平和の意義を問い直し、争いのない未来を築くための意識を高め合うことが必要とされています。過去から学び、命の重みと平和の有難さを次の世代へとつないでいく。それこそが、今を生きる私たちの責務であり、未来への大切な役割です。

戦後80年という節目に、今を生きる私たちができることを、共に考え、私たちの思いを次の世代へ。私たちみんなで、平和を育てていきましょう。

令和7年8月1日

沼田市長

星 野 稔

沼田市教育委員会 教育長

竹之内 篤

沼田市議会 議長

桑 原 敏彦